

事案名	水戸市の事案（茨城県8 1）
分類	廃棄・遺棄 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧軍毒ガス等の全国調査結果報告（案）」〔1〕 ・証言〔2〕 ・証言〔3〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査の再調査について（報告）」平成15年10月14日〔4〕
資料内容概要	<p>茨城県水戸市において、終戦当時、東部37部隊が練兵場内で教育用イペリットなど少量を焼却したとある。また、塹壕に毒ガスを埋めたとの証言がある。</p> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和20年8月に東部37部隊が練兵場で教育用イペリットなど少量を焼却したとしている〔1〕。 ・旧軍関係者（元東部37部隊員、匿名）の証言として、「終戦当時、連兵場内の塹壕に毒ガスを埋めたことがある」と記載されている〔2〕。 ・旧軍関係者（元兵士）の証言として、「東部37部隊（水戸歩兵第2連隊）では、練兵場内にあったガス室で毒ガスの訓練が行なわれていたが、使用していた毒ガスは催涙ガスのみで、イペリットなど危険性の高いものは使用していない」と記載されている〔3〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸軍練兵場跡地は、昭和29年に茨城県が公園を整備し、公園周辺は住宅地になっている〔4〕。